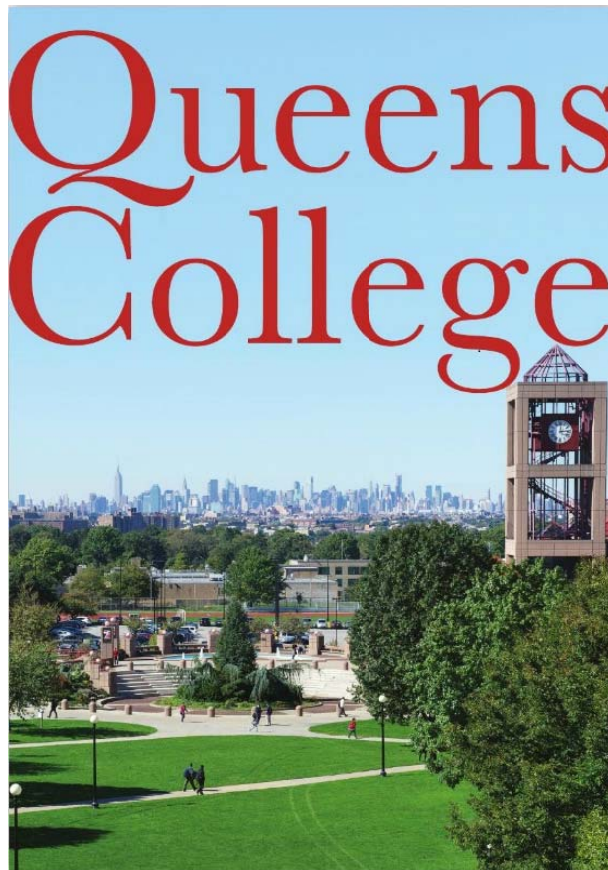


豊橋技術科学大学グローバル工学教育推進機構

QC だより

(第16号 平成27年11月24日)



■ 主要活動報告

小さなチャレンジ

豊橋技術科学大学 松井智哉

前回の私の QC だよりでは、本研修の全体的な概要について紹介しましたが、本報告では個人的な視点からクイーンズカレッジでの取り組みについて書きたいと思います。

今回の研修は私にとっては大きなチャレンジでした。それは、私が英語に対して非常に苦手意識をもっているからです。どの程度英語が苦手かという、4月に受けた初めての TOEIC では、目と耳を閉じてもとれる点数しかとれていないという状態です。そんな英語がわからない状態で、6か月という短い研修でどのように何を学ぶか、英語スキルどの程度上達させることができるかという思いがありました。

4月～6月は学内研修では、自分の英語力と勉強方法を改めて知ることができました。研修の1つとして毎日インターネット英会話(レアジョブ)を行っていましたが、これは英会話に慣れることに関して非常に役に立ちました。会話の機会を増やすためにレアジョブは9月に再開して続けています。

場所はニューヨークに移り、クイーンズカレッジの ELI (English Language Institute) で6週間の英語の授業を受けました。5段階レベル(本来は7段階レベル)の内、私は下から2番目の中級レベルのクラスでした。中級レベルでは私以外の人は英語を聞き取れている人達ばかりでした。文法などはわかるけど会話はできないという日本の英語教育の特徴を感じました(今はわかりませんが)。みんなが何を言っているのかわからない、会話が長く続かない状況の中でなんとか会話をしようと、まずは月曜日には、“週末は何してた？”と話しかけるという小さなチャレンジをしていました。この会話は、すぐに終わって反省するときもあれば、他の話題に移るときもありますが、この small talk のためにこの時期は週末に外に出て、博物館、セントラルパーク、自由の女神や建築物を見たりして

話題を準備していました。

8月下旬からクイーンズカレッジの通常講義が始まり、私は、Differential Equations と Our changing planets と Our Planet in the 21th Century の講義に出席しました。講義スタイルは講師と講義の内容によると思いますが、黒板を使う講義もあれば、スライドを使う講義もあります。非常にゆっくり、シンプルな英語で繰返し丁寧に説明する講師もいました。そして、共通しているのは学生への問いかけが多い印象を受けました。頻繁に学生が理解しているか確認したり質問したりします。答えた学生、質問した学生には名前を聞いて“Thank you, (Student's name)” や “Good try. But it's wrong.” などと声をかけることも忘れません。またクイズを出して隣の学生と話し合わせることも行っています。私の講義でもいくつか取り入れたいと思います。

一方で、会話をする機会を求めて Japanese Culture Club に参加したりしました。ただし、language exchange partner を見つけることは、それほど積極的に考えていませんでした。国内研修で、講師の方が、会話を試合だとしたらスピーキングやリスニングは基礎練習でボキャブラリーやリーディングは筋トレだというようなことを言っていました。この時期、私は基礎練習と筋トレが足りないと感じて、それらを集中的に練習しようと考えていたからです。しかし、Japanese Culture Club の一人にキャンパスで会うたびに“language exchange partner は見つかった？”，“アメリカ人は shy だから声をかけてあげて”と言われたので(彼はドミニカ共和国出身)、少しチャレンジして Japanese Culture Club のフェイスブックに募集を掲示しました。案の定、それには反応がなかったので、結局、ミーティングに参加した時に声をかけて見つけました。週に1,2回会って、会話をして互いに

英語と日本語の練習をしています。

他には、サッカーという共通の話題である程度会話ができるだろうと期待して、QCの学生とELIの学生(彼がmeetupというSNSからサッカーをしている集まりを紹介してくれた)とサッカーをするためにブルックリンの公園へ行きました。しかし、人数が14人ほどだったため交代なしでプレイを続け、1時間のプレイの後、我々以外はさらにプレイを続けたため全く会話をする機会がありませんでした。この小さなチャレンジの思惑は残念ながら外れました。

この報告では、とるに足らない話を書かせてもらいましたが、あえてチャレンジという言葉を使いました。大きなチャレンジを成し遂げるためには小さなチャレンジの積み重ねが必要だと思います。私にとっての小さなチャレンジはどのような結果をもたらすのか楽しみにしています。



ELIのクラスメイトと



Language Exchange Partner と勉強

QCにおける受講と研究活動について

函館高専 森谷健二

本報告では研修の一環として履修及び聴講しているQCの講義の様子と、研究活動の様子について報告します。

1. QCの講義について

NY市立大学(CUNY)全体として、webを有効に利用して学生サポートをしています。学生は自らの履修科目や成績、大学からの、例えば予防接種に関することなどの連絡事項をweb上で確認できます。また、Learning Management System (LMS)にはBlackboard (BB)を採用しています。これは各大学単位ではなくCUNY全体として包括的に契約しており、学生ライセンス単価を安くしているようです。

また、QCとしても独自のアプリを用意して学生の利便性を高めています。

高専機構においてもLMSにBBを採用しているため、その活用・運用方法はおいに参考にしたいところです。学生の活用度合いや意見などの聞き取り調査をしていないのでその部分についてはわかりませんが、いくつかの履修・聴講科目を受けて分かったことは、教授によってLMSの活用度合いに大きく差があることでした。この点は私たちにも同じ課題が予想されます。

さて、講義に関してですが、内容の理解においてホームワークが教授者、受講者双方にとって相当に重要であること、学生の学習意欲



上) CUNY 全体で LMS に採用している Blackboard

左) QC のアプリ。画面は Android 用

が高く活発に質問をすること、教授陣は理路整然とした板書よりも話・対話に重点を置く傾向がある、という事を感じています。実際に、私の履修科目の宿題に取り組んでいると一日や週末があつという間に過ぎます。数式を「This guy ~」と表現し、文末のほぼ 90%(森谷体感)に「right?」「right, guys?」と確認を入れる教授のフランクな感じなど、「英語で講義」という観点からも勉強になり、講義を楽しんでいます。ネイティブスピーカー教授の世間話が一番聞き取れませんが、それが講義で一番楽しいです。これはどこでも同じなのでしょう。現在、様々な講義スタイルを聴講できるようにマネジメントしていただいているので、また新しい発見と刺激があると期待しています。

2. QC での研究活動について

本プロジェクトでは豊橋技科大・QC 両者に Tutor 教授がおり、共に研究を進めることもまた重要な目的の一つです。とはいえ、QC での共同研究は専門分野のマッチングの問題でなかなか難しい部分があるのですが、私に関しては認知脳科学・生体情報学を専門とする Fan 教授が Tutor を引き受けてくださったこともあって研究内容がマッチしています。Fan 教授の研究室はドクターコースの学生とポストドクター

スタッフで構成されており、ファンドも豊富にあることから活発に研究が行われており、みなさんほぼ一日中研究室にいます。生体情報解析と一緒にやっていますが、私が研究室にいる時間は週の 1/3 から半分にも満たないくらいなので、この点に関してはどうせやるなら在外研究等で研究だけに打ち込みたかったな、というのが正直な感想です。この足りない分については帰国後の継続的な共同研究でやっていければ、と思います。なお、Fan 教授の研究室に限定して言うと、ディスカッションはあるものの、みなさん黙々と作業をしているので英会話の訓練にはそれほどなりません。

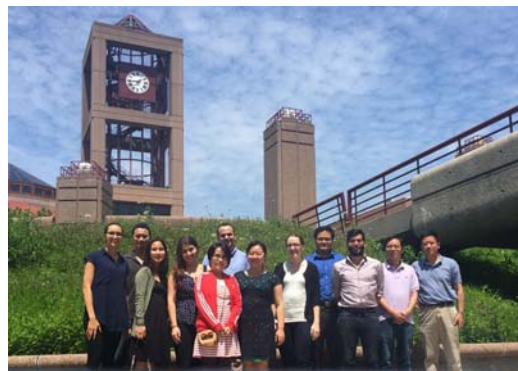


写真) ラボメンバーと。右端が Fan 教授。

3. 普段の生活について

最後に、本項ではミッションとは直接関係しませんが私(たち)の NY での普段の暮らしについて紹介したいと思います。我々は QC の The Summit Apartments、いわゆる大学の寮に住んでいます。大学構内であり、近所にはスーパーやレストランもあり、一部屋を 4 人でシェアしていること以外は何かと便利です(寮についての詳細は QC だより vol.3 をお読みください)。

昨年度の GFD メンバーのおかげもあり、幸いにして、共同スペースに TV があります。夏の ELI の時から、多くの教授たちに「わからない単語があっても辞書を引かずに推測しなさい」ということと「とにかく TV show や Movie をみて英語に慣れなさい」と言われています。従いまして、私は(おそらく、みなさんも) 勉強の

ために Netflix や Hulu といったストリーミングサービスや TV を、もう一度言いますね、“勉強のために”見えています。私は TV ではスポーツをよく見ます。開幕してからはアメフト(NFL)を好んでみっていますが、スポーツ実況の英語は興奮しているうえにリアルタイム性の問題で非常に高速で、さらに声援にかき消されてとても聞き取りにくく、苦戦しています。スポーツは映像を見ればわかるので聞き取れなくても困ることがないので、それが良いことなのか、英語の成長を妨げているのかはわかりません。アメフトの開幕戦を TV とはいえリアルタイムで見られたことはかなりの感動でした。これからも“勉強のために”、ドラマやアメフトを見ていこうと思います。



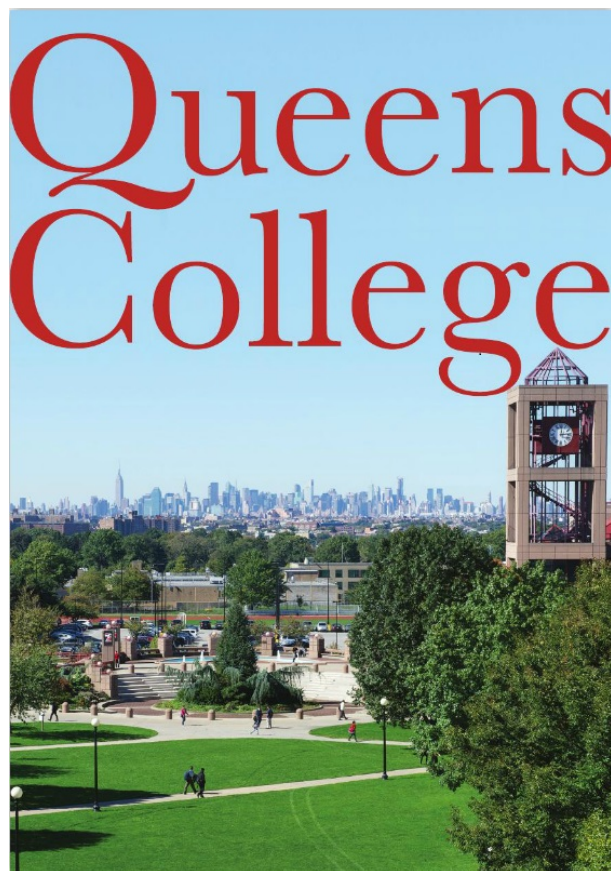
写真) NFL 開幕戦。彼は昨年度覇者、PATRIOTS の QB、Tom Brady です(とってもカッコイイのですが、ものすごく口が悪い)。悔しいが彼のおかげで今年も PATRIOTS は強そうな予感。わが地元、NY GIANTS 頑張れ！

豊橋技術科学大学
グローバル工学教育推進機構
国際教育センター
愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
Tel:0532-81-5161
Mail:unireform@office.tut.ac.jp

**Toyohashi University of Technology,
Institute for Global Network Innovation in
Technology Education**

News from QC

(Vol. 16 2015/11/24)



■ Reports

Small Attempts

Tomoya Matsui, Toyohashi University of Technology

The Outline of the Global FD program was introduced in previous my report, I'd like to write about my action in Queens College (QC).

Attending this program was a big challenge for me. The reason for this is that I am terrible at English. To tell how low my level is in English, I got a score that a person could get with their eyes closed and their ears closed on the TOEIC, which I took in April for the first time. I thought about what I learned and how do I learned it with my English skills during my six months.

I knew the level of my English skills and methods of learning English in training in Toyohashi Univ. Tech. from April to June. I took an English conversation internet lesson (Rare Job) every day as one of Global FD programs. It was useful to get used to making conversation in English. I began to take the Rare Job again to increase my opportunities of English conversations from September.

I moved to New York at the end of June, and I took English classes provided by the ELI (English Language Institute) of Queens College for six weeks. I was assigned to the second level class from the bottom in five class levels (basically seven level), which is an intermediate level. Everyone but myself seems to be able to listen English in this class. I find the characteristic of English education in a Japanese school is that it places importance on English for an exam although I don't know recent English education in Japan. I tried to say to someone, "What did you do on the weekend?" on Monday to make conversation. This conversation sometimes finished right away, and sometimes connected to another topic. I

went to museums, Central Park, The Statue of Liberty, and looked at some architecture during this period in order to make small talk.

The fall semester of Queens College began at the end of August. I attended lectures of Differential Equations, Our Changing Planet and Our Planet in the 21st Century. I think the style of the lecture depends on the instructor and the contents of the lecture. Some instructors use blackboard, some instructors use slides. And some instructors speak at natural pace (it is fast for me), and one instructor speaks very slowly with simple words, repeatedly and carefully. And I found that all instructors interact with the students many times in lecture. Instructors often confirm and ask if students understand lecture. And instructor say to students who answer or ask a question "Thank you (student's name)", "Good try, but it's wrong" and so on. Attending these classes provided me with helpful information on teaching methods.

Meanwhile, I attended a Japanese Culture Club to get opportunities for conversation. But I didn't actively think of finding a language exchange partner. Because I think my vocabulary and reading skills are not good enough, and I had studied them intensively. But whenever I met a member of the Club on campus, he said to me, "Did you find a language exchange partner?", "You should look for someone since American people are shy." (He is from Dominican Republic) So I tried to advertise for a partner on Facebook of Japanese Culture Club. As a result, I

found a partner at the next meeting. We practice English and Japanese with each other one or twice a week.

For another attempt, I expect to make conversation in English about soccer as a common topic, I tried to go to play soccer at a park in Brooklyn with a QC student and a ELI student (he introduced us to the soccer group that he found from Meetup of SNS). But all of us played soccer for about one hour without substitution, since there were only fourteen members. After that, all the members except us continued to play soccer, so there were not conversation opportunities at all. Unfortunately, I was sorry that my expectation of another small try was disappointing.

Finally, my inconsequential actions are written in this report. I think that one needs to accumulate small attempts in order to achieve a big challenge. I'm looking forward to a good result by my accumulation of small attempts in the future.



With classmates of ELI



Study meeting with language exchange partner

Classes and my research activity in QC

Kenji Moriya, National Institute of Technology, Hakodate College

This letter reports my classes and my research activity in QC.

1. Classes

CUNY (City University of New York) supports students very well by web systems. Students can check various kinds of information (e.g. their grades, scholarship) by the CUNY web site by themselves. CUNY has adopted BB (Blackboard) as their LMS (Learning Management System); BB is adopted not only in each college but in all of CUNY. Additionally, QC provides their own app for

students; it's interesting.

Because National Institute of Technology, KOSEN, also adopted BB, the effective utilization of BB in QC could be useful for us. I think that whether the LMS is effectively used or not depends on each professor. This problem might also occur in our institute or my college.

Next, I'd like to talk about classes in QC. I feel the following points: firstly, homework is significantly important for both students and professors. Students have a ton of homework, that is, students really (have to) study, which is the key to their comprehension. Professors can



Blackboard, which is adopted as LMS in CUNY.



The QC app for the Android OS.

focus on difficult or special topics with the assumption that students study well before and after class. Secondly, students usually have an active attitude; students often ask questions and have good discussions. Even if that question is not focused on the point of discussion, professors don't prevent students from asking it; professors wait until a student finishes speaking. Finally, professors seem to prefer a lot of speaking and/or interactive discussions than a lot of writing.

Professors' lesson styles are also interesting and helpful for me. When a professor of mathematics explains equations, he prefers to say "This guy." And, he always has eye contact with students and uses the word "right"; according to my perception, he adds "right" to 90% of the end of his sentences. I love his passionate and humorous expression; I feel he really loves math. I think such a frank style attracts students' interest and induces more active discussions. I'm really enjoying and learning from my classes in terms of both

students and professors.

Professors who are in charge of the GFD project in QC are going to give us opportunities to audit many types of classes in QC. I'm looking forward to attending those classes.

2. My laboratory and my research activity

Cooperative research is one of the main aims in the GFD project. Thus, we have tutor professors in both TUT and QC. However, in QC, finding a tutor professor who has the same research field as that of each member was difficult. Fortunately, professor Fan, who researches recognition brain science and bio-signal measurement, which are near my research field, was willing to be my tutor professor. The lab has only postdoctoral research staff and doctoral course students, so, they are committed to their research. Honestly, because I don't have enough time to tackle our lab project than the other members, I hope to stay here for a longer period. I hope that I could dedicate myself to research by getting another opportunity as an overseas research fellow...someday.

By the way, because lab members conduct their experiments and analysis without chatting, I think that I can't have a lot of English conversation which is good practice. (It's my opinion; it's only in my lab case.)

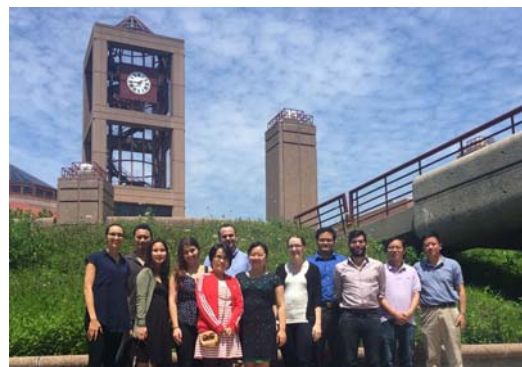


Photo) With the lab members. The person at right end is Prof. Fan.

3. Daily life at the summit apartments

I'd like to introduce a part of our daily life although it doesn't directly relate to our project's mission. We live in the Summit Apartments of QC, which is the university dormitory. Because the summit is on the QC campus, and there are supermarkets and restaurants near QC, it is really comfortable except one room is shared by four persons (If you are interested in details of the summit, see the QC letter Vol.3).

Due to a previous GFD members' kindness, fortunately, we have a television in the common space. The many professors said "If you have unknown words, don't use a dictionary. You should try to guess them from the context." and "Watch a TV show and movie every day and familiarize your ears with native speaker's English." Therefore, I have been watching TV dramas and movies in order to improve my listening skill by streaming channels such as Netflix and Hulu; let me say again I do it "in order to improve my listening skill".

I also like watching sports. Although I can understand what happens from the pictures,

listening to the play-by-play in sports is really difficult, because of following reasons: the speaking speed is very fast due to real-time explanations: the commentator is excited: the spectators' cheers prevent from hearing his/her voice. I was delighted that I could watch the NFL kickoff game in real-time. I'd like to continue to watch the sports and dramas in order to improve my listening skill.



Photo) The NFL kickoff game. He is Tom Brady, who is the QB of the NE PATRIOTS; and, the PATRIOTS are the previous champion team of the Super bowl. the PATRIOTS seem good due to his activity. Go! The NY GIANTS!

Toyohashi University of Technology
Institute for Global Network Innovation in Technology Education
Center for International Education
1-1, Hibarigaoka, Tempaku-cho, Toyohashi, Aichi, Japan
Tel: +81-532-81-5161
Mail: unireform@office.tut.ac.jp